

# 東京都健康長寿医療センターが運営する高齢者ブレインバンク にドナー登録されたご家族の方へ

この研究は代表的な神経変性疾患の1つであるパーキンソン病の発症をもたらすメカニズムの解明とバイオマーカー・創薬標的の探索のために多施設で行われる共同研究であり、当研究室では匿名化された脳組織切片の提供を受けて主に病理学的な解析を行います。

## 【研究課題】

パーキンソン病患者脳および細胞における病理学的変化に関する解析  
(審査番号：11790)

## 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科・神経病理学分野  
研究責任者 神経病理学分野・特任助教 桑原知樹  
担当業務 脳組織切片の病理学的解析

## 【共同研究機関】

東京都健康長寿医療センター（研究責任者：村山繁雄 研究部長）  
主任研究施設としてブレインバンクを構築・維持  
国立病院機構相模原病院（研究責任者：長谷川一子 神経内科医長）  
脳サンプルの収集とブレインバンクへの提供

## 【研究期間】

2018年9月1日～2019年3月31日

## 【対象となる方】

1972年～2017年の間に東京都健康長寿医療センター（旧東京都老人医療センター）または国立病院機構相模原病院（旧国立相模原病院）にて高齢者ブレインバンクにドナー登録をされたご家族の方。

## 【研究の意義・目的】

パーキンソン病は加齢に伴い発症する頻度の高い神経変性疾患であり、高齢化社会の到来に伴いますます患者数が増加していることから、その発症機構の解明と治療法開発は急務となっています。試験管内や動物モデルでの研究から得られた知見について、パーキンソン病患者さん由来の脳組織を解析することにより、パーキンソン病発症に関わる新しいメカニズムや新規の疾患バイオマーカー・治療標的を見出すことを目的としています。

## 【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系

研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。脳組織切片は高齢者ブレインバンクから、郵送により東京大学へ提供され、解析が行われます。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

#### 【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

人体試料や情報・データ等は、高齢者ブレインバンクにおいて、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室に提供されます。さらに、脳組織切片は鍵のかかるロッカーに、血液リンパ球細胞は当研究室内液体窒素中に厳重に保管します。

この研究のためにご家族の試料を使用してほしくない場合は、下記の連絡先までご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら下記連絡先へお尋ねください。

この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科・神経病理学分野における科学研究費補助金（基盤研究C、研究課題番号16K07039）から支出されています。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

#### 【問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科 特任助教 桑原知樹

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5841-3533（内線 23533） FAX：03-5841-3613

Eメールでのお問い合わせ：kuwahara@m.u-tokyo.ac.jp

2018年8月